

令和8年度第1回岐阜県地方独立行政法人評価委員会

－ 議 事 要 旨 －

1 日 時 令和8年7月22日（水） 14：50 ～ 16：50

2 場 所 Web 会議（Zoom）

3 出席者

〔委 員〕 牛越委員長、松波委員、村瀬委員、渡部委員

〔専門委員〕 田中専門委員、伊在井専門委員

〔法 人〕（地方独立行政法人岐阜県総合医療センター） 桑原理事長兼院長、
村上副理事長兼副院長兼事務局長
（地方独立行政法人岐阜県立多治見病院） 杉田理事長兼院長、
西副理事長兼副院長兼事務局長
（地方独立行政法人岐阜県立下呂温泉病院） 森田理事長兼院長、
高野理事兼事務局長

〔設立団体〕（岐阜県） 中西健康福祉部長、山田健康福祉部次長
山田医療整備課長、佐藤医療対策監、玉置医療企画係長

4 議事等

〔議題1〕 地方独立行政法人岐阜県総合医療センター・岐阜県立多治見病院・岐阜県立下呂温泉病院の令和7年度業務実績及び経営強化プラン令和7年度実績に関する評価について

〔報告〕 地方独立行政法人岐阜県総合医療センター・岐阜県立多治見病院・岐阜県立下呂温泉病院の令和8年度事業計画について

5 配布資料 次第、名簿、資料①～②、説明①～④

6 議事要旨

議事概要

〔審議事項：議題１〕

地方独立行政法人岐阜県総合医療センター・岐阜県立多治見病院・岐阜県立下呂温泉病院の令和７年度業務実績及び経営強化プラン令和７年度実績に関する評価について

※各病院の理事長から、資料①についてポイントを説明。主な質疑は以下のとおり。

県総合医療センター

令和７年度業務実績について

【渡部委員】

RPA 導入について、具体的にどのような取組を行ったのか。また、それによってどの程度時間外勤務が減ったかなど、検証はされているか。

【桑原理事長兼院長】

主に事務部門でクラウドベースの RPA を活用しており、定型的な事務作業の時間が節減できていると考えている。

2025 年 8 月時点で 17 業務に導入し、年間約 300 時間程度の時間外業務削減効果があった。

【渡部委員】

薬剤師の職員 1 人あたりの医業収入の伸び率が他と比べて突出して高いのはなぜか。

【桑原理事長兼院長】

薬剤師に関する診療報酬の加算があったためと推察している。

【渡部委員】

コンプライアンス研修後、理解度の確認といったフォローは行っているか。

【桑原理事長兼院長】

研修動画視聴後に確認テストに合格しないと完了としないシステムになっている。

【渡部委員】

未収金の回収実績について、累積回収率が 43.3%とあるが、単年度回収金額が 300 万円に対し未収金発生状況が合計 5,700 万円となっており、5%程度しか回収できていないように見えるが。

【村上副理事長兼副院長兼事務局長】

回収実績については、弁護士法人に委託して回収した実績を記載している。

未収金発生状況については、当センターで把握している患者の未収金を記載している。

【渡部委員】

発生した未収金のうち何割が委託に回るのか。

【村上副理事長兼副院長兼事務局長】

割合ではなく、回収不能と当センターで判断した破綻更生債権について委託している。

【渡部委員】

委託で半分程度回収できたが、そこから手数料がひかれているということか。

【村上副理事長兼副院長兼事務局長】

その通り。

【松波委員】

「より質の高い医療の提供」の項目の自己評価がⅣとなっているが、インシデント・アクシデント報告数のレベル3 bの数があまり減っていないし、レベル5も1件ある。

自己評価Ⅳは妥当と言えるのか。

【桑原理事長兼院長】

インシデント・アクシデントについてはご指摘のとおりだが、自己評価はその他の取組内容を含め項目全体で決定している。

【松波委員】

レベル5とは要するに死亡例である。死亡例が出ていたりレベル3 bが減っていない状況で、質の高い医療を提供できていると言えるかが疑問。よく考えていただきたい。

【松波委員】

内科、小児科、整形外科以外の専攻医研修プログラムが作られていないのはなぜか。

【桑原理事長兼院長】

独自の研修プログラムの必要性については、診療科によって考えに温度差がある。

病院としては、積極的にプログラムの作成を支援したいと考えている。

【松波委員】

下呂温泉病院や高山赤十字病院への人的支援が大きく減少している。岐阜県全体の中核病院として良くないのでは。

【桑原理事長兼院長】

人的支援の状況について再調査したところ、数字に誤りがあることが判明した。正確な数字が分かり次第、訂正させていただく。

【松波委員】

職員1人あたりの医業収入は平成27年度との比較となっているが、当時と比べ診療報酬が大きく上がっているにもかかわらず、収入の伸び率はそこまで高くないように見える。

比較するのであれば、診療報酬の上昇率も考慮しないといけないのではないか。

【桑原理事長兼院長】

比較の仕方は検討する。

診療報酬の上がり方に比べて1人当たりの医業収入が少なく、経営効率がさほど上がっていないというご指摘は受け止め、より効率的な収入構造となるよう努める。

令和7年度経営強化プランについて

【松波委員】

地域連携パス運用数の目標達成率が65%となっているが、糖尿病やCKD等の新規適用実績がゼロとなっている。達成率と実績に乖離がないか。

【桑原理事長兼院長】

目標達成率 65%は、経営強化プラン上の目標値に対する達成率である。

【松波委員】

つまり、目標値が低いから達成率が高くなっているということか。

【桑原理事長兼院長】

そういった見方はある。ただ、例えば CKD については、パスを利用していなくても地域に対する CKD 活動は実施しており、在宅へのシフト等に力を入れている。

パスの利用数については、向上に向け善処する。

【松波委員】

目標値を上げた方が良い。低い目標では経営強化に寄与しない。

【桑原理事長兼院長】

検討する。

【村瀬委員】

経営指標の達成率が高いように見えるが、達成率が高ければ黒字ということになるのか。

【村上副理事長兼副院長兼事務局長】

経常収支比率が 100 を超えると黒字となる。

消費税を医業外で処理する関係上、医業収支比率が 100 を超えて黒字であっても、決算が赤字になることがある。

【村瀬委員】

経常収支比率 96.4 ということは、もう少しで黒字化するということか。

【村上副理事長兼副院長兼事務局長】

まだ赤字は 10 億円以上残っている。

県立下呂温泉病院

令和 7 年度業務実績について

【渡部委員】

修正後の実績報告書39ページの「部署間での支援実施時間数」の表から令和 5 年度の実績が消えているのはなぜか。

【高野理事兼事務局長】

事務的なミスで削除してしまったと思われる。

【渡部委員】

部署間での支援実施時間数が前年より大きく増えているが、何か理由はあるのか。柔軟な勤務配置がうまくいっているということであれば、自己評価を上げて良いのでは。

【高野理事兼事務局長】

具体的な原因は把握していないが、支援調整会議を長年続けることで職員の意識が変わって来たのではないかと思う。

【渡部委員】

どのように集計しているのか。集計方法が変わったなどといったことはないか。

【高野理事兼事務局長】

看護部に集計させているが、集計方法が変わったという話は聞いていない。
より柔軟な協力体制が整ってきたということでご理解いただければと思う。

【松波委員】

ジェネリック医薬品の採用比率が上がってきているが、効率的な経営を考えればもっと上げるべき。採用比率を上げられない理由はあるのか。

【森田理事長兼院長】

努力は続けており、現在では採用比率9割程度まで上がってきている。

【松波委員】

引き続き取り組んでほしい。

令和7年度経営強化プランについて

【渡部委員】

患者満足度の目標値について、入院が85%に対し外来は50%と低く設定しているのはなぜか。
また、どのくらいの件数を集計しているのか。満足度が低い理由の分析はされているのか。

【高野理事兼事務局長】

目標値はこれまでの実績に応じて設定している。

集計人数は今すぐには出せないが、満足度の低さの原因については、地域性のつながりが強いこともあり、病院の良くない評判が広まりやすいという点があると考えている。

そういった点を今後改善し、患者満足度を上げていきたいと考えている。

【渡部委員】

目標値は理想とすべき数字で設定していただきたい。

満足度を上げるには、地域の方の声を分析して、やれることをやっていくしかない。手間はかかるが丁寧に調査・分析していただきたい。

【森田理事長兼院長】

患者満足度が上がらない理由には、専門医の不足がある。専門医がいないため、当院で最後まで患者を診ることができない部分がある。

【渡部委員】

それは推測なのか、それとも実際にそういった声があるのか。

【森田理事長兼院長】

患者へのアンケート調査にも、そういった声が出ている。

県立多治見病院

令和7年度業務実績について

【牛越委員長】

メンタルヘルスの講習会の受講者が大きく増えているが、何か特別な取組をされたのか。

【杉田理事長兼院長】

特に何かしたというわけではない。職員の関心が強かったのではないかな。

【松波委員】

研修医・専攻医の育成に取り組まれているが、岐阜県の医師が増えないと岐阜県民としては困る。何か改善はあったか。

【杉田理事長兼院長】

専攻医は名大のコースに入っており、多くは名古屋近辺に流れてしまう。当院としても束縛するのは難しい。

【松波委員】

医師数増に向けた策はないのか。

【杉田理事長兼院長】

当院の医師数は、ここ何年かで増えている。また、中津川市民病院をサポートするという名目で、大学から脳外科の先生を多くいただくなど、東濃の地域医療を守るための協力はいただいている。

【松波委員】

大学にはたくさん協力いただけるとありがたいし、医師が出ていかにようにしていただけるとありがたい。

令和7年度経営強化プランについて

【松波委員】

医療機器の契約について、リースは良いが保守の部分は考慮されているか。

【杉田理事長兼院長】

保守の分も含めた価格で検討している。

〔審議事項：報告〕

地方独立行政法人岐阜県総合医療センター・岐阜県立多治見病院・岐阜県立下呂温泉病院の令和8年度事業計画について

※事務局（医療整備課医療企画係長）から、資料②についてポイントを説明。質疑なし。

〔その他〕

【渡部委員】

次回の評価委員会では財務諸表が出てくると思うが、その前に、3病院とも訴訟を抱えている場合は、決算書に引当金を積みなければならないようなことになっていないか、確認させていただきたい。

【村上副理事長兼副院長兼事務局長】

医療訴訟の場合は、3病院とも損害保険に入っており、その範囲内で賠償するため、引当は必要ないと考えている。

【高野理事兼事務局長】

当院には訴訟案件はない。

【杉田理事長兼院長】

総合医療センターと同じ。

【松波委員】

昨年度の評価委員会で、総合医療センターの債券の問題が出ていたと思うが、いつ、いくらで買ったか、いくらで売ったかが分かるように、次回説明してほしい。

【村上副理事長兼副院長兼事務局長】

県と相談のうえ、対応する。

以 上（終了時刻 16：50）